

わたしが育った町、門川

門川小学校 五年 小田 莉愛奈

皆さんは、最近夜空を見上げましたか。私は、門川町の夜空がとても好きです。母から星について教えてもらってから、星に興味をもち、よく夜空を見上げるようになりました。季節によって星のかがやき方が違い、さまざまな星座がとてもきれいに見えます。冬の大三角や北斗七星を見つけることが最近の私の楽しみです。

私の父はよく出張に行きます。出張先での話を聞いたときに、都会ではあまり星が見えないと聞きました。都会ではあまり見ることのできない満天の星空をここ門川町では毎日見ることができ、ついうっとりしてしまいます。

また、「魚の町」とよばれる門川には、広い海があり、きれいな川もあり、たくさん魚がいます。私は、三年生のころ、総合的な学習の時間に、「魚の町、門川」について調べ学習をしました。その学習では、門川に生息している魚について調べたり、魚博士の村瀬先生の話の聞いたりしました。みなさんは、門川の海に生息する魚の種類が何種類いるか知っていますか。私は、すごくびっくりしました。なんと、八〇〇種以上が生息しているそうです。東京湾の三十七倍もいるそうです。環境に恵まれていること、自然豊かなことに私はもっと感謝して、誇りに思いたいです。

門川町の魅力は、他にもあります。それは、温かい人が多いということです。私の周りにも、優しい人がたくさんいます。私たち家族が引っ越しをした時には、近所のおじいちゃん、おばあちゃんが生魚のあじを引越祝いに持ってきて下さ

いました。さらには、すれ違った際に声をかけてくださる地域の人も多いです。

「おはよう。」

「いつてらっしゃい。」

「おかえり。」

これまで、見守り隊の方々から、たくさん声をかけていただいています。その言葉で元気が出たり嬉しい気持ちになったりします。私が横断歩道をわたり終えるまで優しく見守っていて下さったりもします。暑い日も寒い日もいつも同じように、見守ってくださいます。おかげで私たちは安心して学校に通うことができます。このように自然豊かで温かさがあふれる門川町が大好きです。

私は門川町をもっと良い町にするために、今の自分のできることは何か考えてみました。今の私にできることは二つあると思います。

一つ目は、自然を守ることです。私は家族と一緒によく公園に遊びに行きます。その公園では、ごみが落ちていたり、時々見かけます。その時、ごみをそのままにせず私は拾うよう心がけています。そうすると、公園がきれいになって嬉しい気持ちになるからです。門川町をもっと緑豊かで自然いっぱいにするために、これからもごみを捨てないように気をつけ、ごみが落ちていたら拾うよう意識し続けたいと思います。また、ごみ拾いや奉仕作業などの地域の様々なボランティア活動にも積極的に参加していきたいと思っています。

二つ目は、あいさつです。門川小学校ではあいさつボランティアで、「先出しあいさつ」に取り組んでいます。私は、みんなが元気よく大きな声であいさつをすると、笑顔が増える

と思っています。実際に、地域の人からあいさつされたり、校門に立っていらっしゃる校長先生や友達にあいさつをされたりすると、私自身も「一日がんばろう。」と笑顔になります。私もこのあいさつをみんなに広めていくために、あいさつボランティアに参加して、たくさん笑顔を増やしていきたいと思っています。

私の将来の夢は、パティシエになることです。みんなから尊敬される人になりたいと思っています。そして、私がつくったケーキを食べた人が笑顔になってくれたらいいなと考えています。私は将来、門川町に今以上に活気のある町になってほしいと思っています。そのためには、私が育ったこの門川町を多くの人に知ってもらわないといけません。例えば、私の作るケーキをカムリウミスズメの形にしたり、カムリウミスズメ型クッキーを作ったりするのはどうでしょうか。将来の自分が門川町のシンボルであるカムリウミスズメのお菓子を身につけているところを想像しただけで、ワクワク嬉しい気持ちになります。そして、なんだか誇らしい気持ちにもなります。

私は、大人になるまでに門川についてもっと知って、たくさんの人にそのよさを広めて、どんどん門川を活気ある町にしていきたいです。私が育ったこの門川町をもっとみんなに知ってもらえるよう、今できることからがんばっていきます。